

公益財団法人 武田太加志記念能楽振興財団

令和4年度 第7期 事業計画

令和4年7月1日～令和5年6月30日

1、能楽公演事業

- (1) 花影会 第52回 令和4年10月29日(土) 於)観世能楽堂
第53回 令和5年4月16日(日) 於)観世能楽堂
- (2) 謡初め 令和5年1月 日付未定 於)武田修能館

2、玄人研修事業

- (1) 稽古能 コロナの情勢を鑑みて開催を検討 於)武田修能館
- (2) 能面、能装束の研修 コロナの情勢を鑑みて開催を検討 於)武田修能館

3、普及啓蒙事業

- (1) 学生向けワークショップ
杉並区立松溪中学校
他、ボランティアで数校行うことを検討する。
- (2) 能+〇〇
年4回 於)武田修能館
- (3) 能面講座
年4回 於)武田修能館
- (4) 復興支援事業
熊本地震復興支援事業 能楽講座 令和5年1～2月
於)県内小中学校及び高齢者施設

4、面装束管理事業

- (1) 能面、能装束の貸し出し 随時
- (2) 能面、能装束の修繕 随時
- (3) 虫干し 夏季1回 令和4年8月10(水)～12(金)

5、修能館管理事業

- (1) 武田修能館の貸し出し 随時
- (2) 武田修能館の維持管理 随時

その他

公演事業の集客目標を達成出来るよう、コロナ対策も考え、柔軟で積極的な広報宣伝活動に努める。普及啓蒙事業では、能+〇〇、虫干し、能面講座をはじめとする事業の参加者を能楽堂で行う公演へ導くことで能楽鑑賞人口の裾野拡大に寄与する。事業収入、会費、寄付金及び各種助成金の取得による収益構造の定着化を目指す。